



「農業・JAバンク」の地位向上と 組織強化を実現するために

湘南農業協同組合

代表理事組合長 布施喜英

組合員・利用者の皆さまへ

皆さまには、日頃からJA湘南をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この度、JAの事業・経営及び活動状況等に対する一層のご理解をいただくため、信用事業を中心にできるだけわかりやすく取りまとめました「2011 DISCLOSURE・JA湘南」（デイスクリージャー誌）作成いたしました。皆さまには、この冊子により当JAへのご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

経済、金融、農業情勢

昨年の経済金融情勢は、夏場以降、欧米など海外経済の回復により、国内景気は輸出に牽引される格好で足踏み状態からの脱却を今日まで模索している最中でありましたが、本年3月11日に発生した東日本大震災、さらには東京電力・福島第一原子力発電所における深刻な事故により、国内経済・産業は大打撃を受けています。今後も原発事故の長期化、夏の電力供給不足等により企業の生産活動に大きな支障が出る半面、復興の特需も考えられるものの景気回復は年度下期以降と見込まれています。

一方、金融政策面においては、引き続き大幅な金融緩和措置を継続しておりますが、復興需要や財源高による物価上昇や復興に向けた国債増発など金利上昇要因が想定されますが、日銀の金融政策は、現在までのところ低位で推移しております。

農業情勢につきましては、TPP（環太平洋経済連携協定）問題が震災の影響により参加・協議が中断していますが、原発の影響による農産物への影響が深刻な問題となっている中、引き続き参加阻止に向け取り組む必要があります。また、相変わらずの生産資材の高止まりに加え、異常気象による農産物出荷への影響など農業経営にとりましては厳しい状況が続いております。

当JAの基本姿勢・取り組み

当JAは、第7次3ヶ年プランを策定し、昨年度から「信頼」「貢献」「確立」を基本姿勢とした事業運営に取り組み、地域農業振興計画では、販売事業計画や作物別専門部会振興計画を策定し、安全・安心な農畜産物の提供など地域農業戦略の体制を確立するとともに、生産者と消費者の連携を深め、農業の発展を目指し、事業別（協同活動）計画では、地域社会の核となる事業別戦略活動を展開し、組合員・地域住民の期待に応えるJAとして地域社会に貢献してまいります。

JAグループの取り組み

JAバンクでは、同バンクシステムの十分な信頼性を確保する観点から、毎年見直しを行っておりましたが、平成22年3月期以降見直しはありませんでした。また、JAグループ神奈川では、一昨年11月の第62回県農協大会において、今後3ヶ年の基本方針として「大転換期における農業の復権と組織・JA経営の強化」に取り組んでいくことが確認され、当JAも引き続き取り組みを進めております。

最後に

地域の皆さまと都市農業の地位向上・発展に寄与するとともに、「JAバンク基本方針」を遵守し、組合員が参画する協同組合としての組織・事業基盤づくりを進め、経営の透明性・健全性・信頼性の更なる向上を目指し、組合員・利用者の皆さまからのお一層信頼されるJAづくりに邁進する所存であります。

今後とも、より一層のご理解とご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

平成23年6月